

「あれっ？」と思ったら まずは、きこえの教育相談を！

軽度や片耳だけの難聴の聞こえ方（一例）



静かな所では聞こえても、先生の位置や距離、雑音等の影響で聞こえにくくなることがあります。



1対1の会話では支障なくても、大勢の会話になると理解しにくいことがあります。

軽度や中等度、一側性（片耳だけ）の難聴がある場合、ご家族や先生などのまわりの方だけでなく、難聴があるご本人も“きこえにくさ”に気づかないケースが少なくありません。例え軽度や一側性であっても、難聴があると学習面や生活面に影響を及ぼすことがあります。

お子さまのきこえやことば、発音などについて「あれっ？」と思われることや心配なことがあれば、まずは電話やFAXにてご連絡下さい。

また、当センターには0歳児から耳の検査ができるシステムを整備しているため、乳幼児や障害があるお子さまにも安心してきこえの検査を受けていただけます。お気軽にご相談ください。

※聞こえにくさのチェックポイントについては裏面を参考にしてください。

京都府北部聴覚支援センター

（京都府立聾学校舞鶴分校内）

電話：0773-75-1094 FAX：

0773-76-2711

こんなことはありませんか？

～きこえのチェックポイント～

【きこえの様子】

- ・呼びかけに振り向かないことがある。
- ・テレビの音を大きくする。または、近づいて見る。
- ・「えっ？」「なんて？」と聞き返すことがよくある。
- ・電話をする時に片耳は聞こえにくいと言う。

【ことばや発音の様子】

- ・聞き返しや聞き間違いがある。
- ・助詞（てにをは）の表現に間違いがみられる。
- ・書き言葉（表記）に間違いがみられる。
- ・言葉の発達について心配なことがある。
ことば数が少ない 言葉があまり増えない
- ・発音に間違いがみられる。言葉がはっきりしない。

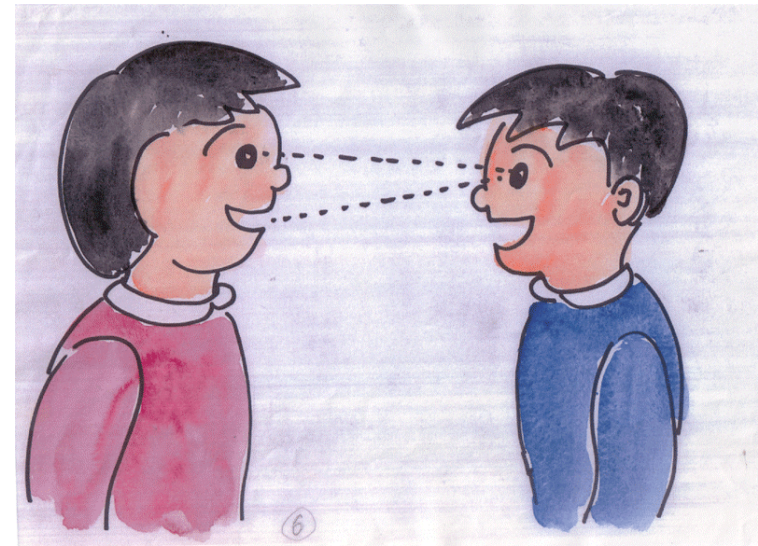
【行動の様子】

- ・静かな場面では指示や会話が理解できるが、まわりに話し声や雑音があると理解しにくくなる。
- ・集団場面でまわりと違った行動をとる。また、言葉による関わりが苦手で、粗野な行動が目立つ。
- ・まわりの様子を見ながら行動する。行動や発言に自信がもてない。
- ・集中できる時間が短く、落ち着きがない。

【その他】

- ・1歳半や3歳児健診の時にきこえやことばについての指摘を受けた。
- ・中耳炎（特に滲出性中耳炎）や鼻炎にかかっている。または、長く通院していた経験がある。

難聴は早期の発見と聞こえにくさの程度に応じた手立てや配慮がとても大切です。



正面から顔を見ながら話すと理解しやすくなります。また、少しゆっくり話すことで聞きとりやすくなります。